



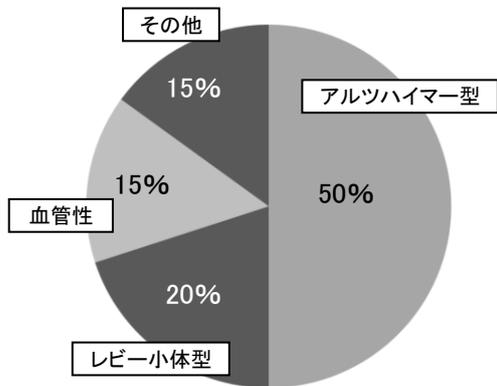
## 認知症は種類があります

誰でも年齢とともに、物覚えが悪くなったり、人の名前が思い出せなくなったりします。こうした「物忘れ」は脳の老化によるものです。

しかし、認知症は「老化による物忘れ」とは違います。認知症は、何かの病気によって脳の神経細胞が壊れるために起こる症状や状態をいいます。そして認

知症が進行すると、だんだんと理解する力や判断力する力がなくなつて、社会生活や日常生活に支障が出てくるようになります。

認知症のうち、およそ半数はアルツハイマー型認知症、次が多いのがレビー小体型認知症、そして血管性認知症と続きます。これらは「三大認知症」といわれ、全体の約八五%を占めています。



### ■アルツハイマー型認知症とは

#### 認知症とは

物忘れから気付くことが多く、今まで日常生活でできたことが少しずつできなくなっていくきます。新しいことが記憶できない、思い出せない、時間や場所が分からなくなるなどが特徴的です。また、物忘れられ妄想や徘徊などの症状が出ることもあります。



### ■レビー小体型認知症とは

#### 認知症とは

実際には、いない人が見える「幻視」また、眠っている間に怒鳴ったり、奇声をあげたりする異常行動などの症状が目立ちます。また手足が震える、小刻みに歩くなどパーキンソン症状がみられることもあります。頭がはつきりしたり、ボーンとしたり、日によって変動することも特徴的です（分かりにくいことも多い）

レビー小体型認知症は、患者様によって症状の現れ方が異なります。また、時間帯や日によって症状が変動するので、正しく診断しにくい病気です。そのため、初めにパーキン

### ■血管性認知症とは

#### 認知症とは

ソン症状が現れて「パーキンソン病」と診断された後に記憶障害が出てきて、レビー小体型認知症と分かったり、逆に物忘れでアルツハイマー型認知症だと思われた後にパーキンソン症状が現れて、レビー小体型認知症と診断されるケースもあります。

脳梗塞や脳出血などによって発症する認知症です。脳の場所や障害の程度によって、症状が異なります。そのため、できることと

きないことが比較的はつきりと分かれていることが多いです。手足の麻痺などの神経症状が起きることもあります。

以上、三大認知症の特徴を並べましたが、それぞれの認知症の種類によって、治療方法や、介護のポイントなども異なります。認知症の種類を違うものだと思つて介護していても、うまくいかないケースも多くあります。何かおかしいと感じたら早めに医師に相談しましょう。

(看護師

藤島 敦子)

